

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：食物栄養科学生に対する歯の健康と食育普及事業</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人山梨県歯科医師会</p>
<p>3. 実施組織： 主催：一般社団法人山梨県歯科医師会                      協力：山梨県歯科衛生士会</p>
<p>4. 事業の概要： “将来栄養士を目指す「食物栄養科学生に対する歯の健康と食育普及研修会」の開催” 将来行政・学校・病院等において幅広く活躍する栄養士の方々の養成機関である食物栄養科の学生に、歯科に関する理解を深めていただき口腔と食育の深い関連性を理解していただき、栄養士としての個人のスキルアップばかりでなく、栄養士会と歯科医師会のますますの連携強化を目的に実施し、受講者数は 74 名であった。 また、事前・事後で同じ内容のアンケート調査を行い、理解度と今後の課題について調査した。</p>
<p>5. 事業の内容： “将来栄養士を目指している学生に対する「歯の健康と食育普及研修会」の開催” 山梨県下唯一の栄養士養成機関である山梨学院短期大学食物栄養科の学生を対象に次の内容の研修会を実施した。 なお、栄養科として同学年 2 クラスあり、学校カリキュラムの関係もあり 2 日間に分けて実施した。また、実施にあたり山梨県歯科衛生士会の協力を頂き、実習を伴う研修会とした。 ＝ 2 日間とも同じ内容＝ 1) 講 演 演題：『口から食べるということ』 講師：山梨県歯科医師会広報部理事 内田 喜仁 2) 実 習 『ph テスト・RD テスト・ブラッシング指導 等』 講師：山梨県歯科衛生士会(4 名)</p>
<p>6. 実施後の評価(今後の課題)： 栄養士の資格を取得するという目標を持って努力している学生なので、講義へのぞむ姿勢もとても良く、事業趣旨を十分理解いただけたものと思う。 また、ph テストや RD テストなどの実習を取り入れたことにより、今の自分自身の状況を知り歯科保健について一層身近な問題として捉えていただくことができた。その為、質疑応答の時間では多くの質問がでるなど積極的な参加をいただけた。 多職種連携を意識・推進するための第 1 歩となる貴重な講義となり、大変意義深い事業となったと思う。</p>